



立地協定を締結

10月31日(火)、株式会社ダイツール技研と町が新工場増設の立地協定を締結し、調印式がおこなわれました。

今後、町内にある工場の増設をおこない、来年6月の操業をめざしています。

今回の工場増設は、金型製作で培われた超硬素材削加工のノウハウを生かして「ダイヤモンドバイト工具」を開発し、工具の製造販売をおこないます。3年計画で5人の雇用を見込んでいるそうです。



大丸小で世代間交流

10月22日(日)、大丸小学校の校庭において、大丸小学校子ども会主催による「ふれあいグラウンドクリーン大会」が開催されました。これは、地域の方との交流を目的に開催され、同校児童約15名と地域の方約45名が参加しました。児童は地域の方から打ち方のアドバイスをもらいながら一緒に8ホール回り、グラウンドゴルフの後は校内花壇の草取りをおこない交流を深めました。後日学校に提出された日記には「グラウンドゴルフをまた一緒にしたい」と楽しかった思い出を綴った児童もいました。



海に親しむビーチイベントで自然を体感

11月4日(土)、横瀬海岸において、B&G大崎わんぱく海洋クラブが主催する「砂ASOBeach」が開催されました。参加者はSUPやシーカヤック体験、フレスコボールなどで自然を感じながら体を動かしました。20分間で集めたごみの量を競う「スポーツごみ拾い」では漂着ごみなどが合計で約140kg集まり、あっという間に海岸がきれいになりました。持留小学校6年生の中村龍生さんは、祖母の中村幸子さんと一緒にシーカヤックを体験し、「楽しかったです。おばあちゃんとの良い思い出になりました」と話してくれました。



伝統芸能「棒踊り」を披露

11月2日(木)、野方小学校の校庭において、同校4～6年生28名が地域の方や保護者に棒踊りを披露しました。

児童は、棒踊り保存会の指導の下、練習に励み、6年生が4年生に教えるなど自主練習も積んできました。当日は同会の生歌に合わせて踊りました。

6年生の重田彩花さんは「練習をたくさんして良い発表ができたので良かったです」、指導した藤岡勇作さんは「とてもよくできていました。伝統芸能をこれからも続けていってもらえたら」と話されました。